

ブックちゃんの

2016年10月17日

ふじのみや探検

第20号 白糸の滝のひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284

ひみつ1

なぜ 白糸の滝がえらばれたの？



むらまついこう 村松以弘 (1772~1839) 「白糸瀑図」 静岡県指定文化財 掛川市蔵 紙本淡彩 縦89.8cm横177.4cm

白糸の滝は富士山世界文化遺産の構成資産に選ばれました。富士山はすばらしい芸術や信仰などの文化を生み出してきましたが、その富士山の生んだ芸術や信仰のすばらしさを証明してくれる場所、たてももの遺跡などを構成資産といいます。白糸の滝が選ばれた理由は、江戸時代、富士講の信者たちが修行した場所だったからです。滝の岩場から地下水が白い糸のようにたくさんたれさがり、この世のものとは思えないような神秘的な雰囲気につつまれて、冷たい水で身を清める水行にぴったりの場所であったからにちがいありません。白糸の滝は、富士山信仰がおこなわれてきた特別な場所です。

白糸の滝は、富士山の地下水が約200メートルにわたりしみでているめずらしい場所であり、その水がつくる滝のけしきがたいへん美しく、昔から多くの人びとに感動をあたえ和歌に詠まれたり絵に描かれたりして、親しまれてきました。昭和11年、国の名勝及び天然記念物に指定され、昭和25年10月には「観光百選滝の部」で1位に選ばれています。

◇ことばの説明

富士講…富士山は仏さまと神さまのすむ山として古くから信仰されてきました。江戸時代、富士山を信仰し登山を希望する人たちは、往復で1週間から1ヵ月かかる旅の費用を用意する必要がありました。そこで、地域や仕事の仲間などで毎月お金を出しあい、順番に富士山に登る団体をつくりました。こうした団体のことを講といいます。富士山に登る講のことを、いつからか富士講とよぶようになりました。

ひみつ2 お鬢水って なに？

源頼朝が富士の巻狩りをした時、白糸の滝の上にある岩穴の湧水で鬢のぼつれをなで上げたという伝説があります。そのことにちなんでその水のことをお鬢水とよんでいます。鬢とは頭髪のことです。身だしなみに気を配る頼朝はおしゃれな人だったのですね。



頼朝は、白糸の滝に来てすばらしいけしきを見ました。どのように感じたのでしょうか。

「白糸村誌」に、頼朝が「この上にいかなる姫のおわすらん おだまき流す白糸の滝」と和歌を詠んだことが紹介されています。

「おだまき」とは、つむいだ麻糸を玉のようにまきあげたもので、おだまきの細く長い糸をたくさん流したような滝のようすを、美しい女性にみたててほめたたえています。



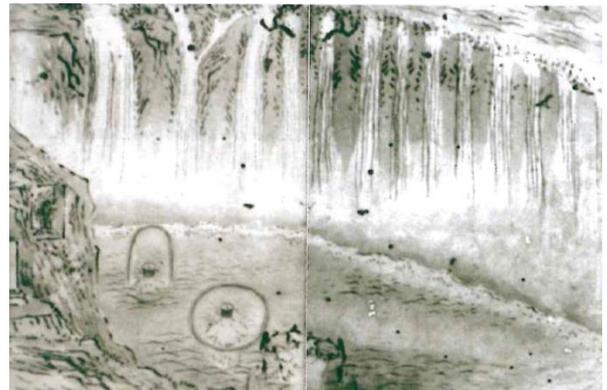
◇ことばの説明

伝説…むかしから、人びとにかたりつたえられてきた話。いいつたえ。

ひみつ3 食行身禄ってなに？

水行ってどんなことをするの？

長谷川角行がおこした富士講の信者が白糸の滝で身を清める水行をおこなった記録があります。どんなことをしたのでしょうか。そのようすを描いた絵があります。滝つぼの中に光彩と思われる円や○でこまれた人物が2人見えます。滝のしぶきの中で虹に包まれながらじゅもんをとねえ、ふしぎな世界に導かれるようすをあらわしたと考えられています。



角行の後を継いだ六代目の食行身禄という人が亡くなって100年目の時に「食行身禄」と書いた石碑を滝つぼの左手前にたてました。富士講を広めた身禄の活躍をたたえる富士講の人びとの気持ち伝わってきます。

◇ことばの説明

長谷川角行…江戸時代の初めのころ、富士講を開いたといわれる人物。人穴にこもって修行し、苦行の末、後に、富士講と呼ばれる富士山信仰を起こした。

ひみつ4

なぜ「音止めの滝」っていうの？

源頼朝が富士の巻狩りをした時、曾我兄弟が父のかたきである工藤祐経を討ったといわれています。

おさないころ父を殺された曾我兄弟は、母とともに曾我の家に引きとられました。二人は元服して、兄は曾我十郎祐成、弟は曾我五郎時致と名のりました。

富士の巻狩りに参加した工藤祐経を討つために、曾我兄弟は、滝の近くの岩かげにひそんで、かたき討ちの相談をしていた時、滝の音がゴーゴーと耳にひびいて話がうまくできませんでした。二人はためいきをついて「こころなしの滝だのオ」とつぶやくと、急にピタリと音を止めてしまったといわれています。それからこの滝を「音止めの滝」とよぶようになりました。



曾我兄弟が相談をしていたかくれ岩

◇ことばの説明

元服…男子が成人し、髪形、服装を改め、初めて冠(頭にかぶるもの)をつける儀式。元服の年齢はきまっていなかったが、11歳から17歳の間におこなわれた。

ひみつ5

滝は5つある

白糸の滝の上流部には、神棚の滝、牛淵の滝、朴の木滝があります。



神棚の滝 音止めの滝上流 500m



牛淵の滝 白糸の滝上流 300m



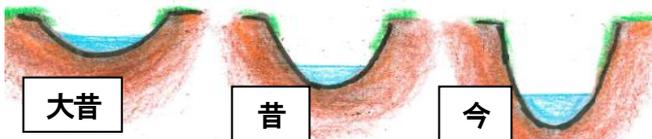
朴の木滝 白糸の滝上流 500m

このほかにも白糸の滝周辺には、猪の窪川に魚止めの滝、半野川の熊久保に朝日滝があります。さらに、猪之頭には、陣馬の滝があります。

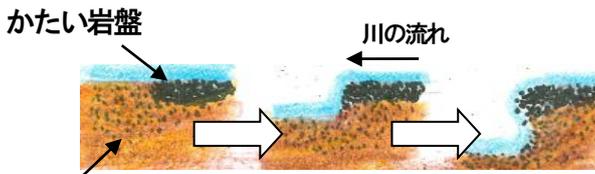
さまざまな表情をした滝ですが、昔から地元の人びとに親しまれてきました。

まめ知識 白糸の滝の位置は変わってきた？

川の流れは、川床から石・土砂をけずります。けずりとられた川床に上流から流れてきた石・土砂がたまりまゝ。たまる量よりけずりとられる量が多いと、そこは谷になっていきます。(下図は川底の断面図)



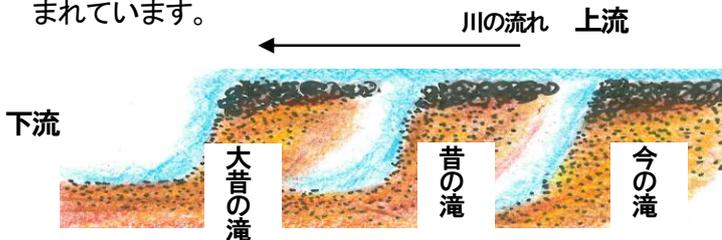
谷がつくられていく中で、上流の川床が下流よりかたくてけずられにくいと、下の図のようにその段差が滝となります。



やわらかい地層

上流のかたい岩盤も少しずつつけずられたり、かたい岩盤の下にあるやわらかい地層がけずられてかたい岩盤がくずれたりして、滝の位置が上流に向かってずれていきます。滝の位置が変わるのです。

白糸の滝は、1年に2cmずつ上流に後退しているそうです。大水が出ると、白糸の滝に芝川本流の水が流れ込み、滝の後退を早めているので、その対策が望まれています。



滝の位置が上流にずれている

◇『第20号 白糸の滝のひみつ』は、次の資料をもとに作りました。

- 1 『富士山大自然への道案内』 小山真人／岩波書店 2013
- 2 『名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」第二次保存管理計画』 富士宮市教育委員会／ 2010
- 3 『富士宮の昔話』 渡井正二 / きうちいんさつ 1994
- 4 『活火山富士山がわかる本』 監修 小山真人 / 国土交通省富士砂防事務所 2005
- 5 『世界遺産富士山—信仰の対象と芸術の源泉』 富士山世界文化遺産登録推進両県合同会議 / 2014
- 6 『日本の滝』 永瀬嘉平、三島昭男、宮田 登 他 / 講談社 1995
- 7 『曾我兄弟』 砂田 弘 / ポプラ社 2006
- 8 『史蹟人穴』 富士宮市教育委員会 / 1998
- 9 『世界遺産富士山を行く!』 藤井勝彦 / メイツ出版 2014
- 10 『白糸滝伝説と奇談』 富士宗四郎 / 緑星社 1970



※今も昔も仇討ちは犯罪です。良い子も悪い子もやっちゃダメ。